

国際シンポジウム いま改めて考えよう地層処分 ～世界の取り組みから学ぶ～

2016年3月28日(月)

参加無料
定員300名

開場・受付13:00 開会13:30 閉会16:30 (終了時間が延長する場合があります)

※当日は、13:10から地層処分事業の概要を紹介する動画を放映いたします。
ご興味ある方は、この機会にぜひご覧ください(上映時間:約15分)

丸ビルホール(東京駅前 丸ビル7階)

開催概要

原子力発電に伴い生じる高レベル放射性廃棄物は、これまでの原子力利用の結果、すでに相当量存在しており、その処分は、避けては通れない課題です。原子力を利用してきた諸外国も同じ課題を抱えており、現在、どの国も「地層処分」という方法を採用し、処分場所の選定等の取り組みを進めています。国民や地域の方々の理解をどのように得ていくのか、処分事業と地域の共生はどうあるべきか等について、2009年に処分場建設予定地が選定されたスウェーデンの実例を踏まえながら、一緒に考えていきたいと思えます。

プログラム(予定・敬称略)

13:30 開会挨拶

鈴木淳司(経済産業副大臣)
マグナス・ローバック(駐日スウェーデン大使)

13:40 基調講演

「地層処分に向けた世界の取組と日本の針路」
増田寛也(総合資源エネルギー調査会放射性廃棄物WG委員長)
「スウェーデンの実例から学ぶ」
サイーダ・エングストレム(スウェーデン核燃料・廃棄物管理会社(SKB社)副社長)
ヤーコブ・スパンゲンベリ(スウェーデン エストハンマル市長)



総合資源エネルギー調査会
放射性廃棄物WG委員長
増田 寛也



スウェーデン核燃料・
廃棄物管理会社(SKB社)副社長
サイーダ・エングストレム



スウェーデン
エストハンマル市長
ヤーコブ・スパンゲンベリ

15:00 休憩

15:15 パネルディスカッション

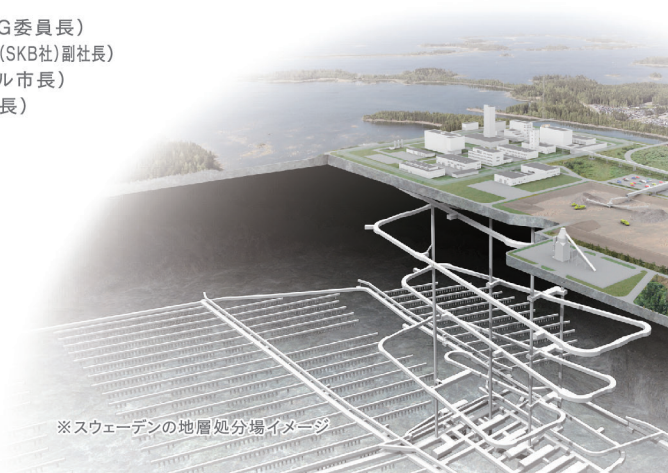
コーディネーター: 伊藤聡子(フリーキャスター)
パネリスト: 増田寛也(総合資源エネルギー調査会放射性廃棄物WG委員長)
サイーダ・エングストレム(スウェーデン核燃料・廃棄物管理会社(SKB社)副社長)
ヤーコブ・スパンゲンベリ(スウェーデン エストハンマル市長)
秋庭悦子(NPO法人 あすかエネルギーフォーラム理事長)
小林大和(資源エネルギー庁放射性廃棄物対策課長)
近藤駿介(原子力発電環境整備機構(NUMO)理事長)

16:30 閉会



主催: 経済産業省 資源エネルギー庁 原子力発電環境整備機構
後援: スウェーデン大使館 (公財)原子力環境整備促進・資金管理センター
(一社)日本原子力産業協会 国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構 電気事業連合会

※スウェーデンの地層処分場イメージ



参加お申し込み

参加をご希望の方は、ホームページ、またはFAXで、郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、電話番号、性別、年齢を明記の上、お申し込みください。

2016年3月24日(木) 締切

ホームページ: http://www.numo.or.jp/pr-info/pr/event/new_symposium16022909.html
FAX: **03-6371-4101**

※300名に達した時点で締め切らせていただきます。(先着順)お早目のお申込みをお願いいたします。
※応募者の個人情報は、今回のシンポジウムの運営(参加証メールの配信や当日の出席確認、シンポジウムの内容に変更があった場合の連絡、メールマガジンの登録(希望者))のみに使用し、それ以外の目的では使用いたしません。

●お問い合わせ

原子力発電環境整備機構 NUMO
地域交流部広報グループ

古川・井上

Tel. 03-6371-4003
(平日10:00~17:00)

e-mail
numokouhou.b2@numo.or.jp

FAX 申し込み用紙

郵便番号 -

住 所

氏 名 (フリガナ)

電話番号

() -

FAX番号

() -

性 別

年 齢

男 性 ・ 女 性

歳

<質問記入欄>

今回のテーマである「地層処分に向けた世界の取り組み」について、「知りたい」「聞いてみたい」等のご質問がございましたらご記入ください。

※頂いた質問内容の一部または全部を、会場又はウェブサイト等においてご紹介させていただく場合がございます。なお、全てのご質問にお応えできない場合がございますので、あらかじめ御了承ください。

FAX:03-6371-4101
(24時間受付)